



身近なテーマで、人権問題について考えるコーナーです。

第13回「はーと&はーと」絵本原作コンクール

大阪市教育委員会では、子どもと大人と一緒に読み、考え、話し合うことのできる絵本の原作为募集します。人権の視点をまじえて、あなたの経験や思い、子どもたちに伝えたいこと、一緒に考えたいことをストーリーにしてお送りください。

優秀賞作品には、絵をつけて第13回「はーと&はーと」絵本として制作・発行し、市内学校園などに広く配布します。

応募規定

作品は自作で未発表のもの1,600字以内
(400字詰め原稿用紙3~4枚程度)

問合せ・応募先

〒530-8201 北区中之島1-3-20
教育委員会事務局生涯学習部
「はーと&はーと」絵本担当
電話:6208-9086 FAX:6202-7054

締切 8/13(金) 必着

くわしくは、各区役所、各図書館、各市民学習センター等で配布しているチラシ、またはホームページをご覧ください。

「はーと&はーと」絵本ホームページ

<http://www.manabi.city.osaka.jp/Contents/jinken/ehon/index.htm>



第12回「はーと&はーと」絵本と『入選作品集』プレゼント!



昨年度優秀賞作品を絵本にした『たこ、たこ、あがれ!』と『入選作品集』をセットで先着1,500人にプレゼントします。

申込方法

①住所②名前③絵本プレゼントを知ったきっかけを記入した紙とともに、290円切手を貼った返信用角型2号封筒(240mm×332mm)に住所・名前を書いたものを同封して送ってください
(※ひとりにつき1セットまでとなります)

申込・問合せ

〒530-0001
北区梅田1-2-2-500 大阪駅前第2ビル5階
総合生涯学習センター
『たこ、たこ、あがれ!』プレゼント係
電話:6345-5004 FAX:6345-5019

「はーと&はーと」絵本『たこ、たこ、あがれ!』原画展

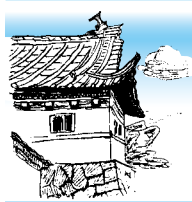
6/16(水)~22(火)

総合生涯学習センター ギャラリーA
(地下鉄各線・阪急・阪神「梅田」、JR「北新地」「大阪」)
9:30~21:30 (日曜は17:00まで)
※最終日は20:00まで

7/2(金)~14(水)

中央図書館1階エントランスギャラリー
(地下鉄「西長堀」)
9:15~20:30 (日曜は17:00まで)

いずれも無料(申込不要)



おおさか歴史探訪 36

大阪の史蹟や歴史資料を毎号連続でご紹介します。

瑞光寺の雪鯨橋 一世に類なき珍しきながめなりー



大阪市教育委員会は、大阪市の歴史や文化を考えるうえで重要なものを、市の文化財に指定しています。平成21年度も11件の文化財が指定されました。このうち今回は、有形民俗文化財として指定された東淀川区にある瑞光寺の「雪鯨橋」について紹介します。

この雪鯨橋の本体は石造のアーチ橋で、それ自体が大阪府では唯一というめずらしいものなのですが、それよりも欄干が鯨の骨でできていることに大きな特徴があります。これには次のようないわれがあります。

江戸時代中期の宝暦6年(1756)、時の瑞光寺住職が紀州(和歌山県)の太地へ立ち寄った際、この地の漁民は鯨漁で生計をたてていたのですが、このところ不漁で生活が困窮している状況を哀れみて、祈願をおこなったところ大漁が続いたというのです。村人たちは飢饉から救われたお礼に鯨の骨18本を寄進したので、住職はこれを用いて境内の池に橋を架け、鯨を供養したというものです。当初は全体が鯨骨でできていたのですが、橋板は傷みやすかったので、その後この部分は石橋に変えたといえます。

江戸時代後期の地誌である『摂陽奇観』に「難波一州の名奇とす。行きて見るべし」と、また『浪花のながめ』という書物にも「世に類なき珍しきながめなり」と記されていて、当時から注目されていたことがわかります。

おおむね30年から50年の間隔をあけて、現在までに5回、鯨骨の取替えがおこなわれていますが、これは太地町からの寄進に支えられたものです。紀州の漁民とその消費地であった大阪の寺院との繋がり示す興味深い例といえます。
(大阪市教育委員会 文化財保護担当)

